

東京青年会議所の 歴史

1949

三輪善兵衛氏らによる 東京青年商工会議所設立

1950

商工会議所法の制定により
東京青年会議所と改称

1951

日本青年会議所設立(設立時10青年会議所)

1958

「手を挙げて横断歩道を渡りましょう」の運動を拡大
(小松川交通安全会議への継続)

1960

社団法人の許可を受ける
(民法第34条に規定された公益法人)

1964

厚生大臣よりパラリンピック協力により
感謝状受賞

1966

山中湖肢体不自由児キャンプ訪問
(フレンドシップキャンプに発展・継続)

1973

ラブリバー・フェスティバル清掃大会
(二子玉川緑地公園)

1974

中国青年訪日団交歓会
→日中青年経済人文化交流へ発展・継続

1977

第1回わんぱく相撲東京都大会

1988

障害者テニス大会

1998

公開討論会初開催

1999

臍帯血に関わる医療材料に対する
保険適用を求める講師支援(50周年)

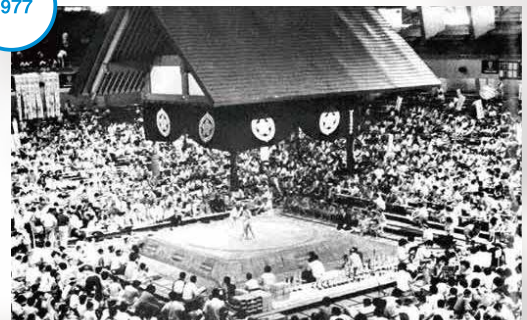
1949



東京青年商工会議所設立

1949年東京青年会議所は、東京青年商工会議所として、48名の志ある青年達によって日本に先駆けて設立されました。

1977



第1回わんぱく相撲東京都大会

青少年の健全育成を目指した「わんぱく相撲」は、東京23区に拡がり、この時初めての東京都大会が開催されました。

2001

都議・区長・参議院議員選挙の公開討論会

2003

Vision Tokyo 2003

2004

東京JC学校講師派遣システムの運用開始

2005

新宿ワールドキッズ、市民討論会

2006

渋谷 SAFETY NET WORK 2006

2007

ハッシン!環境ガバナンス 2007

2009

60周年記念式典開催

2010

公開討論会 2.0(WEB 選挙公開)

2011

公益社団法人格の取得

2012

東日本大震災の復興を想い
復興支援事業を続行

2013

2020年東京オリンピック・パラリンピック
招致実現への協力

2014

わんぱく相撲モンゴル大会の開催
JCI世界会議にてアワード受賞

2015

第28回国際アカデミーin東京を開催

2016

第5回都民意識調査の実施

2017

ダイバーシティマネジメント推進
マニラJCとの連携プログラムでJCIアワード受賞

2018

中小企業向けSDGs推進マニュアルの作成・配布
「わんぱく相撲」東京23地区全大会
外部団体への移管完了

2010



今考える平和の意味と この国のあり方

安全保障問題の第一人者である、民主党の長島昭久、自民党の石破茂両氏をお招きし、沖縄のJCメンバーや学生とも共同して、平和の意味や国を守ることについて考えるフォーラム、パネルディスカッションを実施しました。この事業を通じて社会に一石を投じました。

2012



3・11を心に刻む 「次世代の想像のために」

甚大な被害を受けながらも、時間が経てば風化してしまうであろう大震災を後世に伝えること、そして被災者の方々に伝えたいという思いで、フォーラムを行いました。



2018



40年以上にわたり開催される 「わんぱく相撲」大会

「わんぱく相撲」は、国内各地はもとより世界にも拡がり、モンゴルやパラオ等、海外でも開催され、東京青年会議所の代名詞ともいえる事業となりました。2018年には東京23地区全ての大会において事業移管が完了し、地域に根ざした運動となっています。